

※会期中の展示替えはありません。すべて個人蔵



「猫の当字」(部分) 弘化1(1841)年頃 天保末(1841)43年頃



展覧会公式ホームページ <https://event.hokkaido-np.co.jp/kuniyoshi/>

主催 北海道新聞社、NHK札幌放送局
後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会
企画協力 アートワン
特別協力 旗、テレビ愛知
協力 H1B 北海道テレビ

展

観覧料
一般 1700(1500)円
高大生 1000(800)円
中学生 700(500)円
小学生以下無料(要保護者同伴)

前売券販売所(4月24日まで)
展覧会公式ホームページ 道新レイガイト、セイ
コマイト店内マルチコピー機、セコマコード
D250425502、ロジックチケット、コード
12715、セフ
ンチケットセブン
コード08700、
北海道立近代美術
館 展覧会公式ホ
ムページから当日
券を販売します。

玉

名古屋や東京、イタリア・ミラノをはじめ国内外で巡回中のイマーシブ(没入型)展覧会「動き出す浮世絵展」とのコラボレーションで、歌川国芳にフォーカスしたスピンオフ作品「国芳 イマーシブアート」を北海道で初めて公開します。



動き出す浮世絵展
日本各地で大人気のイマーシブ作品が北海道初上陸!

※写真は実際の展示と異なります。

歌川国芳

UTAGAWA

江戸時代後期に活躍した浮世絵師、歌川国芳(1797-1861)。歌川派のいしずえを築いた初代歌川豊国の弟子であった国芳は、中国の古典をもとにした「水滸伝シリーズ」で人気を博し、武者絵の国芳と称され一躍人気絵師となりました。その後は武者絵にとどまらず、美人画、歴史画や、西洋画の技法を取り入れた風景画など様々なジャンルの作品を手かけ、その才覚を發揮しました。斬新な発想力と拔群のユーモアをもって描かれた国芳の浮世絵は、激動の幕末にあつて多くの人々の共感を呼び、近年では浮世絵の新時代を築き上げた天才絵師として国内外で高い人気を博しています。本展では、国芳が得意とした武者絵のほか、戯画、美人画など幅広いジャンルの作品約200点を展覧し、魅力あふれる国芳ワールドをご紹介します。

外天 奇想 豪放 磊落

[休館日]5月5日を除く月曜日と5月7日(水) [開館時間]9時30分~17時(入場は16時30分まで)

2025 4.25^[金] 6.15^[日]

UKIYO-e

浮世絵 スーパークリエイイター 歌川国芳展



「宮本武蔵と巨鯨」(部分) 弘化4(1847)年頃 個人蔵

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 Tel 011-644-6881 <https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb>



(地下鉄)東西線・西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分(JRバス・中央バス)道立近代美術館バス停下車、徒歩1分(提携駐車場)ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目、当館から徒歩5分)を割引料金でご利用いただけます。
・美術館利用者を対象とした割引(駐車場入場から20分無料、以降20分ごとに130円。当館の押印機で駐車券に押印してください)。
・障がい者割引(精算前にビッグシャイン88窓口で、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を提示すると1時間無料(上記2つの割引は併用不可)。

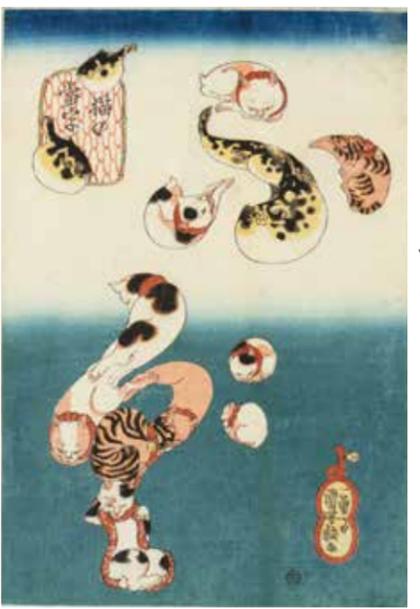
問い合わせ 北海道新聞社 事業センター
Tel 011-210-5731
(10時~12時、13時~17時 ※土・日、祝日を除く)
左:「東海道五十三對 桑名 船のり徳藏の傳」(部分) 弘化3(1846)年
右:「みかけハこはるがとんだいゝ人だ」(部分) 弘化4(1847)年頃

KUNIYOSHI

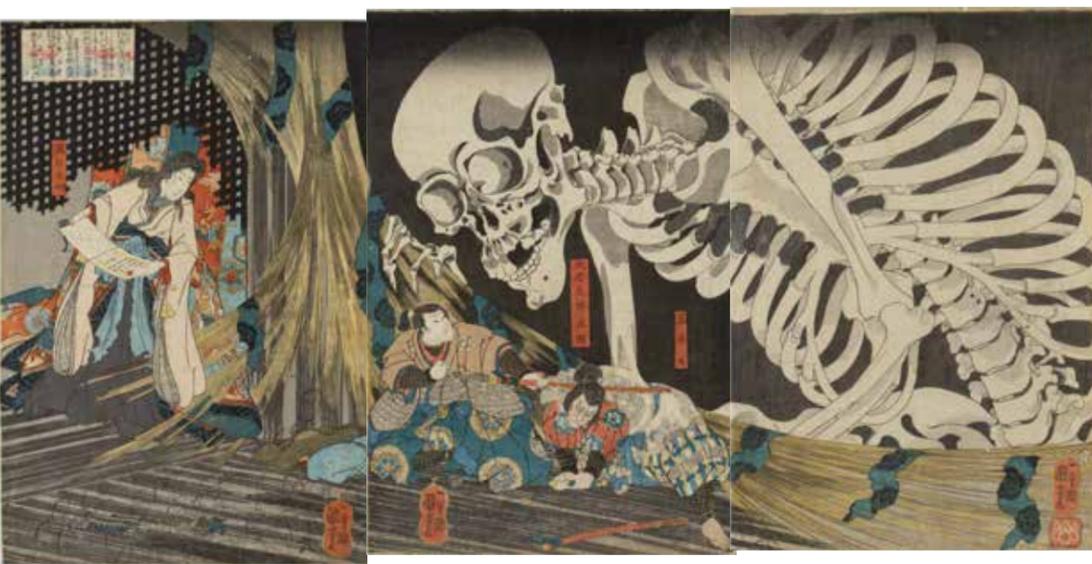


KUNYOSHI's!
アイデア!

発想の柔軟さは浮世絵師随一。
現代でも通用する。
ユーモアあふれる造形や
アイデアに江戸っ子は拍手喝采。



右：東海道五十三對
養名、船り廻りの傳
弘化3(1846)年
中：相馬の古内裏
弘化2(1845)年
左：源頼光公館
土御作妖怪園
天保14(1843)年



KUNYOSHI's!
モンスター!

国芳の奇想ぶりは止まりません。
西洋医学を基にした、
リアルな骸骨のお化け、
化け猫、妖怪など、
江戸っ子驚く魅惑の大行進。



上：通俗水滸傳畫像八百人之人花和尚魯知深初巻魯達文政10(1827)年頃
下：坂田怪重丸天保7(1836)年頃



イベント!

ギャラリートーク
日時 4月25日(金) 10:30開始(30分程度)
会場 本展展示室内
講師 月本寿彦氏(福島県立美術館学芸員、本展監修者)
定員 40人(先着順) / 参加無料(要観覧券)

特別講演会
「メイキング・オブ・国芳イマージブアート」
日時 4月25日(金) 13:30開始(60分程度)
会場 北海道立近代美術館 講堂
講師 東山武明氏
(株式会社一旗代表取締役、本展「国芳イマージブアート」プロデューサー)
定員 200人(先着順) / 聴講無料(要観覧券)

特別講演会
日時 5月17日(土) 10:00開始(60分程度)
会場 北海道立近代美術館 講堂
講師 岩崎直人氏(札幌芸術の森美術館副館長)
定員 200人(先着順) / 聴講無料(要観覧券)



「忠臣蔵」制作年未詳



「東都名所 新吉原」天保初期(1831~33年)頃

KUNYOSHI's!
アクション!

国芳といえは武者絵。
アクション映画さながらに、
これでもかと思わせる筋、筋骨隆々の
漢たちの躍動ぶりを華々しく紹介。



KUNYOSHI's
ハンサム!



国芳大集合!
たっぷりお見せしませ!



「流行猫の狂言つし」(部分) 天保12(1841)年頃



東海道五十三對



東海道五十三對



上：「猫の当字 ふう」天保末(1841~43)年頃 / 下左：「朝比奈小人嶋遊」弘化4~嘉永5(1847~52)年頃 / 下右：「みかけハこハるがとんたい」人だ 弘化4(1847)年頃



「みかけハこハるがとんたい」人だ 弘化4(1847)年頃

「かっこいい」「カワイイ」「怖い」「面白い」…ぜんぶ!!

江戸エンタメの最高峰!

「ダレゾレ?」
KUNYOSHI

江吉のエンタメ、
浮世絵の多ジャンルで
活躍した「ハーバークリエイター」、
国芳の創作の秘密をさぐるエピソード。

「名譽右に無敵左り基五郎」(部分)
嘉永初期(1848~50年)頃

キーワード

1 刺青描いたら
大流行か

2 驚かせるための
あれこれ

3 西洋絵画への
あこがれ

4 弟子は多く
親しまれ

5 どてらは
地獄変相図

詳しくは会場で!